2026年11月11日

各　　位

会 社 名　株式会社ダイドーリミテッド
代表者名　代表取締役社長 執行役員グループCOO 成瀬　功一郎
コード番号　3205　（東証スタンダード・名証プレミア）
問合せ先　執行役員 経営管理室長　林 修平
（ TEL：03－5422－8209 ）

第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026年８月７日に公表しました第２四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので、お知らせいたします。 なお、通期連結業績予想については、前回公表値から変更はありません。

記

１．2027 年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異（2026 年４月１日～2026 年９月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 18,790	百万円 120	百万円 90	百万円 130	円 銭 4.74
実績値(B)	18,847	185	283	△93	△3.40
増減額(B-A)	57	65	193	△223	△8.14
増減率(%)	0.3	54.2	214.4	―	―
（ご参考）前期第２四半期実績 (2026年３月期第２四半期)	13,294	△698	△807	△186	△6.87

２．差異の理由

売上高につきましては、衣料事業が概ね想定どおりに推移したことなどにより、前回発表予想を 57 百万円上回る結果となりました。

営業利益につきましては、イタリアの製造子会社において粗利率の悪化等がありましたが、不動産賃貸事業や全社部門においてコストが想定を下回ったことなどから、前回発表予想を 65 百万円上回る結果となりました。

経常利益につきましては、営業利益の増加に加え、受取配当金および暗号資産売却益が想定を上回ったこと等から、前回発表予想を 193 百万円上回る結果となりました。

一方で、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、第２四半期に予定していた保有資産売却の一部が下期にずれ込んだこと等により、前回発表予想を下回る結果となりました。なお、2027 年３月期通

期の連結業績予想につきましては、前回発表から変更はありません。

（注）本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。実際の業績等は、のれんの金額およびのれんの償却期間など、今後の様々な要素により本資料の記述とは異なる結果となる可能性があります。

以上